



大阪科学・大学記者クラブ 御中  
(同時資料提供先：文部科学記者会、科学記者会)

2022年5月24日  
大阪公立大学

## 四肢皮膚悪性腫瘍に対しての静脈皮弁による再建が 腫瘍学的にも整容的にも優れた結果に

<本研究のポイント>

◇これまでは悪性腫瘍に対する使用が少なかった静脈皮弁による再建が、腫瘍学的にも整容的にも優れた結果をもたらした。

<概要>

大阪公立大学大学院医学研究科 形成外科学の出口 綾香病院講師、元村 尚嗣教授らの研究グループは、形成外科医による四肢皮膚悪性腫瘍切除および静脈皮弁再建術の有用性を明らかにしました。本研究結果は、皮膚悪性腫瘍患者において適切な切除・再建を行えば四肢や術部の温存は可能であることを示唆しています。

四肢は皮膚悪性腫瘍の発生が比較的多く、従来は根本的治療として切断術が行われることも少なくありませんでした。近年、癌といえども根治性に加えて整容性も重要視すべきであるという **Oncoplastic Surgery** なる概念が叫ばれるようになりました。さらには、治療方針も徐々に進化し、適切な切除と再建のための新しい技術も登場しました。しかしながら、四肢皮膚悪性腫瘍に対して、腫瘍学的・整容的に配慮した治療、すなわち **Oncoplastic Surgery** による治療の有用性については報告されていませんでした。

今回、本研究グループは、四肢皮膚悪性腫瘍に対して患側とは対側からの静脈皮弁による再建を13例施行しました。その結果、全症例で腫瘍学的にも整容的にも優れた結果をもたらすことが示されました。本研究結果は、腫瘍学を熟知したマイクロサージャンによる四肢皮膚悪性腫瘍治療が、四肢温存・整容性維持に繋がる可能性を示しています。

本研究は米国科学誌『**Plastic and Reconstructive Surgery-Global Open**』に掲載されました。

私たち形成外科医は、悪性腫瘍を扱う際に、**Oncoplastic surgery** という概念を重要視しつつ、可能な限り低侵襲かつ安全な手術を心がけて、今後も患者の **quality of life** 向上のためにより良い外科的治療を提供していきたいと思えます。



出口 綾香病院講師

雑誌名： Plastic and Reconstructive Surgery-Global Open  
論文名： Venous Flap Reconstruction following Wide Local Excision for Primary Cutaneous Malignancies in Extremities  
著者： Ayaka Deguchi, Hisashi Motomura, Takaharu Hatano, Heishiro Fujikawa, Shusaku Maeda  
掲載 DOI: <https://doi.org/10.1097/GOX.0000000000004220>

### <研究の背景>

四肢は皮膚悪性腫瘍の発生が比較的多く、従来は根本的治療として切断術が行われることも少なくありませんでした。しかし、近年は、適切な切除・再建を行えば、温存は可能であるという概念が主流となりつつあります。そのため、腫瘍のリンパ流とは関係のない部位からの皮弁再建が望ましく、また腫瘍切除が主である以上、低侵襲の再建手術が望まれています。近年、がんをはじめとする腫瘍治療に対して、**Oncoplastic Surgery** の必要性が言われており、腫瘍学的にも整容的にも優れた再建手術が求められています。

### <研究の内容>

そこで本研究グループは、四肢皮膚悪性腫瘍に対して、患肢（指、趾）温存した腫瘍拡大切除、患側とは対側からの静脈皮弁による再建を第1選択としました。その結果、本法を用いることで、特に四肢末梢（指、趾）においては、腫瘍学的にも整容的にも優れた結果をもたらすことが明らかになりました。本研究は腫瘍外科医であるとともに、マイクロサージャンでもある形成外科医による皮膚悪性腫瘍治療の有効性を示した臨床症例です。

### <今後の展開>

今後は静脈皮弁における再建手術方法の改良による更なる術後結果の向上、血行動態などを含めた静脈皮弁の知識を症例蓄積と共に深めていきます。

#### 【研究内容に関する問合せ先】

大阪公立大学大学院医学研究科 形成外科学  
担当：出口 綾香  
TEL：06-6645-3892  
E-mail：[ayakanochi@omu.ac.jp](mailto:ayakanochi@omu.ac.jp)

#### 【ご取材に関する問合せ先】

大阪公立大学 広報課  
担当：上嶋<sup>かみしま</sup> 健太  
TEL：06-6605-3411  
E-mail：[t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp](mailto:t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp)